

② 課題設定の工夫

ア 単元全体を通しての課題挑戦

児童一人一人にとっては、それぞれの技を正確に行い、スムーズな連続技ができ、技を組み合わせた創作活動ができるようになることや、友達とどのように協力できるかが単元全体の学習課題になる。

特に、単元後半の発展学習において一つ一つの技がより正確になって創作意欲が高まり、協力学習が深まって、児童一人一人の課題が達成されていくと考えた。

イ 興味・関心と意欲を高める課題

図5のように、コース別学習では、既習の技を組み合わせたものと、既習の技と新しい技を組み合わせたものを準備し、児童一人一人の課題に応じて興味・関心を高め、個の「よさ」を生かし、意欲的に学習に取り組めるようにした。

(図5)

イエロー
コース 名前(〇子)

<p>そく方ころがり 右にも左にも</p> <p>かたからつこう</p>	<p>立ちひざから横に まっすぐにまわろう。 右にも左にもまわ ろう。</p>	
<p>後ろころがり 手で押しあげる</p> <p>体をまるめて</p>	<p>からだをまるくし て両手でマットをお してみよう。</p>	
<p>前ころがり</p> <p>うでをしっかり つこう</p>	<p>りょううでに体重 をかけてまっくなっ てまわろう。</p>	
<p>台上での前ころがり</p> <p>せなかをまるめて こわがらないで</p>	<p>とびばこの上で、 手をつけてまっすぐ ころがってみよう。</p>	

できた日 7月 10日

○既に学習した4つの技を組み合わせたコース

ブルー
コース 名前(〇子)

<p>横ころがり 右にも左にも</p> <p>体を伸ばして</p>	<p>横にまっす くにころがろう。</p>	
<p>後ろころがり 体をまるめて</p>	<p>からだをまる くし両手でマッ トをおしてまわ ろう。</p>	
<p>前ころがり 手をしっかり つこう</p> <p>体をまるめて</p>	<p>りょううでに 体重をかけてま るくなってまわ ろう。</p>	
<p>とびあがり とびおり</p> <p>いきおいを つけて</p>	<p>うでをしま りつけてマッ トにとびあがり、 むねをはって 速くにとんでみ よう。</p>	

できた日 7月 10日

○既に学習した4つの技を組み合わせたコース

ピンク
コース 名前(〇子)

<p>後転</p>	<p>まっすぐにむりな くまわろう。 まわったいきおい でおきあがろう。</p>	
<p>前転</p> <p>マットを かけて 大きく</p> <p>立ってみよう</p> <p>上体をまるめて</p>	<p>からだを小さく丸 めスピードをつ けてまわろう。 まわったいきおい でおきあがろう。</p>	
<p>かた足水平立ち</p> <p>離さないで</p> <p>ひざをのばす</p>	<p>りょううでを水 平にし、からだも ゆかた水平にな るまでまげて2 びよういじょう とまろう。</p>	
<p>開きやくとび</p> <p>まっすぐにつこう</p> <p>いきおいをつけて</p> <p>速くに</p>	<p>スピードのある じよそうから、 強くふみき って速くま でとぼう。</p>	

できた日 7月 12日

○既に学習した技と4年生で学習する技を組み合わせたコース